

がんリハビリテーション最前線

～入院から外来へ いかにかんリハを拡げてゆけるか～



2017年

日時 **11月4日(土)**

13:00～16:45

会場 慶應義塾大学信濃町キャンパス
2号館11階 大会議室(新宿区信濃町35)

対象 がんのリハビリテーションに興味のある方すべて

参加費 **無料** (事前申込み不要)

定員

約**100**名

がんは日本で、今や一生のうちに約半数の国民が罹患する日常的な病気です。様々ながんに対する治療法が開発されてきた一方で、手術等のがん治療に伴う機能障害、苦痛症状への対策は十分とはいえません。近年、この機能障害、苦痛症状に対するリハビリの有効性が臨床研究により明らかになってきました。がん患者へのリハビリテーションは入院中は保険が適応となりますが、退院後や在宅では保険が適応されず、リハビリテーション継続の大きな障害となっています。

今回は、がんリハビリテーションを入院から外来へいかに拡げてゆくべきかを検討する場として、この講演会を企画しました。前半部では、外来におけるがんリハビリテーションの現状と課題、そして、各がん種ごとの外来リハビリテーションプログラムの開発状況を専門医より解説してもらいます。後半部ではがん体験者のお二人に登壇いただき、がんとう向き合い、困難をどう克服されてきたのか、その貴重なご体験を伺います。最後に、がん体験者と多職種医療者が問題点を自由に話し合い、今後の目指すべき「がんリハ」の方向性を探ります。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

革新的がん医療実用化研究事業 科学的根拠に基づくがんの支持療法の開発に関する研究

外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究

研究代表者 **慶應義塾大学 辻 哲也**

(事務局) 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 TEL 03-5363-3833 FAX 03-3225-6014

がんリハビリテーション最前線

～入院から外来へ いかにかんリハを拡げてゆけるか～

開会挨拶

関根 龍一 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科 部長)

13:10～13:40	基調講演	がんリハビリテーションの現状と課題 ～今、がんリハで何が問題なのか～ 辻 哲也 (慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 准教授)
13:50～14:50	講演(第一部)	がん種別の外来がんリハプログラムの開発状況について ①肺がん 川上 寿一 (滋賀県立成人病センター リハビリテーション科 科長) ②食道がん 佐藤 弘 (埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 准教授) ③乳がん 田沼 明 (静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科 部長) ④頭頸部がん 加賀谷 斉 (藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座 教授)
15:00～15:50	講演(第二部)	がん体験者の声 広瀬 真奈美 (一般社団法人がんサーフィットネス 代表理事) 長谷川 一男 (NPO法人肺がん患者の会ワンステップ! 代表)
16:00～16:40	パネル ディスカッション	これからのがんリハの普及・向上に必要なこと ～がんサバイバー、多職種スタッフとともに 今後のがんリハについて語り合おう～ [司会] 関根 龍一 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科) [パネラー] 広瀬 真奈美 (一般社団法人がんサーフィットネス 代表理事) 長谷川 一男 (NPO法人肺がん患者の会ワンステップ! 代表) 西 弘美 (千葉県がんセンター 乳がん看護認定看護師) 辻 哲也 (慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室) 増田 芳之 (静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科 理学療法士) 菊内 祐人 (国立四国がんセンター リハビリテーション科 作業療法士) 安藤 牧子 (慶應義塾大学病院リハビリテーション科 言語聴覚士)

閉会挨拶

辻 哲也 (慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室)

関根 龍一 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科)

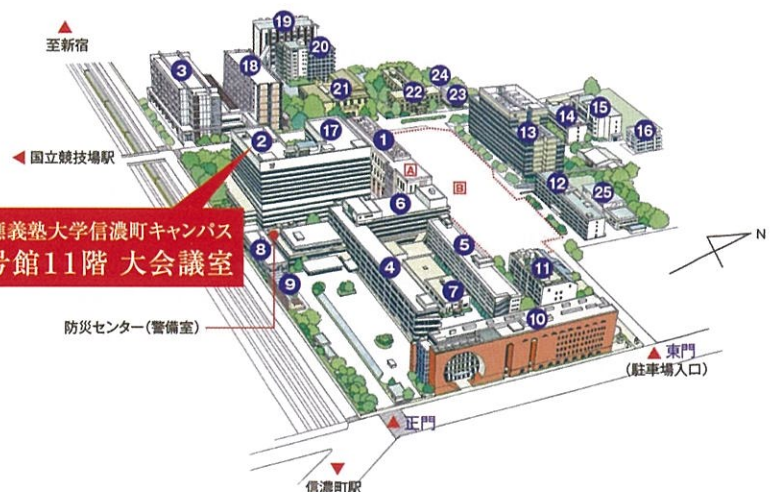
交通アクセス

● JR・地下鉄

中央・総武線「信濃町」駅下車、徒歩約1分
都営大江戸線「国立競技場」駅下車(A1番出口)、徒歩約5分
丸の内線「四谷三丁目」駅下車(1番出口)、徒歩約15分
半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車(0番出口)、徒歩約15分

● バス

新宿駅西口・品川駅高輪口(品97)「信濃町駅前(慶應病院前)」下車
早大正門・渋谷駅東口(早81)「四谷第六小学校入口」下車



【主催】AMED革新的がん医療実用化研究事業
科学的根拠に基づくがんの支援的療法の開発に関する研究「外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究」研究班

【後援】一般社団法人 日本がんサポーターケア学会(JASCC)がんリハビリテーション部会
東京都西部地域リハビリ支援事業(慶應義塾大学病院リハビリテーション科)
在宅の多職種チーム医療とケアを考える会

【事務局(問い合わせ先)】慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

Tel.03-5363-3833 Email:daihyou@ml.keio.jp